

人吉球磨管内自治体産業医・担当者向け研修・情報交換会への出席のお願い

災害対応に取り組む自治体職員には心身に多大な負担がかかっています。7月4日豪雨災害から1か月が過ぎましたが、職員の方々の疲労が蓄積してきている状態だと思われます。地域の復興のためには、自治体職員が体調を崩すことなく、働き続けることができる職場環境を作ることが大切です。人吉球磨の各市町村には、これまで以上の産業保健体制の充実・強化が求められています。この度、表記研修・情報交換会の機会を設けますので、出席をよろしくお願いいたします。

目的：災害時の自治体職員向け産業保健活動の必要性を認識し、今後の具体的活動を確認する

対象：人吉球磨管内10市町村の産業医、産業保健関係従事者、総務・職員厚生担当者、保健師等

日時：令和2年8月17日月曜日 18時～（1時間半程度の予定）

場所：球磨地域振興局大会議室

次 第（案）

1. 災害時の自治体における産業保健体制強化の必要性について（広島大学 久保）
2. 熊本地震時の益城町における産業保健体制強化の経験について（益城町福祉課 塘田）
3. 熊本地震時に自治体職員に認められたメンタルヘルス問題（こころのケアセンター 矢田部）
4. 今後、各市町村で何をすべきか（産業医科大学 立石）
5. 意見交換

企画支援：県医師会・産業医科大学

協力：人吉保健所

*なお、産業医の先生方には日本医師会認定産業医研修 1.5 単位（専門）が付与される予定です。
ふるってのご参加お待ちしております。

連絡先：人吉保健所 剣・示野（保健予防課）